



「筒井康隆コレクション I 48億の妄想」

洋画家の泉谷岡山大大学院教授

## 装丁・挿画手掛ける

作家筒井康隆さんの入手困難な作品ばかりを収めた選集の刊行が始まった。全7巻の装丁・挿画を手掛けるのは、洋画家で岡山大大学院教授の泉谷淑夫さん（62）＝総社市三須。人間の姿を羊に置き換え文明批評を展開する泉谷さんのシュールレアリスム世界も筒井ファンらから注目されている。

「筒井康隆コレクション」の版元は、東京都文京区の出版芸術社で、ミステリーやSFの研究



泉谷淑夫さん

究者として知られる日下三蔵さんが監修。想像力を刺激する実験的、破天荒な筒井ワールドだけにこれまでにない発想の装丁を考えていた同社が、以前挿画を依頼した泉谷さんの絵画世界に注目した。

第1巻「48億の妄想」は昨年

11月に発刊。装丁は初めてという泉谷さんは、カバーの表にもくもくとした煙の向こうに巨大なカボチャが出現した草原で13匹の羊が草をはむ「Daylight Dream」（2007年）のほか、裏、そでに小さく作品を配した。

本体の表紙には、巨大な木の幹の前にいる羊たちを描いた「聖地」（02年）の部分を使うなどいくつも絵を楽しめる。表題作のほか、「幻想の未来」「SF教室」など収録。四六判、上製本、608頁。3024円。隔月刊で、表紙の絵は共通にし、カバーの絵を毎号変えていく。「読者から、圧倒されたという声があった」（同社）と好評で、「筒井作品と共に私の作品のイメージが広がっていくのはうれしい」と泉谷さんは話す。第2巻「霊長類南へ」は今月末刊行。問い合わせは、同社（03-3947-6077）。（江見肇）